

トークセッション

～四国発！マイスターが語る ドイツ食、 ゲル・マニアが語るドイツ史～

7/14(土) 15:00～17:00/開場 14:30
アイパル香川(香川国際交流会館)

料金: JG-Youth会員学生:1,000円/その他:1,500円

“トークセッションの後は、懇親会もあります!!”

参加申込はこちら: <http://jg-youth.net/jg-youth-connect-2018/>

主催: 日独ユースネットワーク 香川日独協会 若者の会

後援: 大阪神戸ドイツ連邦共和国総領事館

全国日独協会連合会 香川日独協会

協力: 公益財団法人 香川県国際交流協会



スピーカー紹介

富田 秀樹 氏(食肉マイスター)

講演テーマ:マイスターが語る日本のハムソーセージの歴史



香川の小さなドイツ村グリュースゴットを営むマイスター。ドイツ本国で食肉加工マイスターの資格を取得後帰国。現在は、香川県に飲食・菓子製造を営むグリュースゴットを構え、ドイツの食文化を広める活動を行なっている。名物は香川県特産のオリーブ豚を使ったチューリングガーブラートブルスト。県内のマルシェなどに本店の味を広めている。奥様もドイツ本国で菓子職人ゲゼルの資格をとられた日本人ドイツ職人夫妻。奥様の作るシュトレンも好評を博す。

伸井 太一 氏(ドイツ製品・文化史のライター)

講演テーマ:ドイツの香りがする島、四国でドイツ愛を叫ぶ!

ローテンブルク・フライブルク・リュートネブルク、そしてニーダーザクセン州



ドイツ・歴史のライター。日独協会で「中二病で学ぶドイツ語」講座を担当したり、「ドドンとドイツ!」などに出演したり。著書に、「メイド・イン・ジャーマニー」の謎に迫った『第二帝国(上下巻)』(編著)や東独・西独製品を紹介した『ニセドイツ』シリーズなど。実は、某東京の女子大で教えるドイツ現代史の研究者(秘密ではない)。本名では、『日本人が知りたいドイツ人の当たり前』(鎌田タベア氏との共著、三修社)、『教養のドイツ現代史』(田野大輔氏との共編著、ミネルヴァ書房)も。

香川 X ドイツ